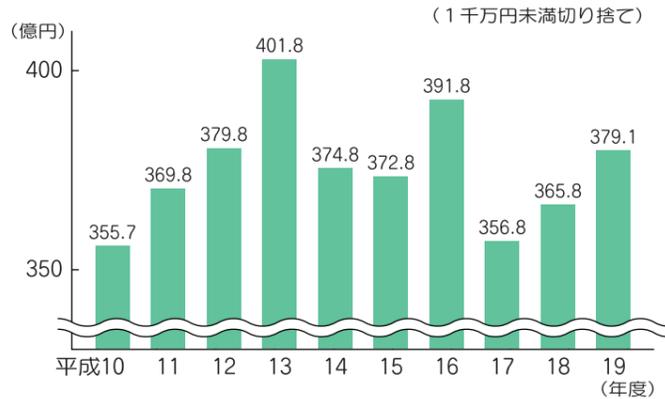


市民1人当たりの市税収入と歳出額

市税収入		歳出	
市民税	65,998円	民生費	56,615円
固定資産税	59,017円	土木費	48,726円
都市計画税	8,937円	総務費	40,544円
市たばこ税	4,914円	公債費	40,445円
軽自動車税	1,527円	衛生費	35,822円
その他	5円	その他	64,526円
合計	140,398円	合計	286,678円

人口は132,267人（平成19年3月1日現在・外国人を含む）で計算

一般会計当初予算額の推移



平成19年度 特別会計・企業会計予算額

上段：予算額、下段：一般会計からの繰入金

会計名	予算額	前年度対比
特別会計	299億1,240万円	7.3%
	40億3,557万円	▲0.6%
国民健康保険事業	108億2,200万円	10.3%
	5億9,077万円	0.6%
簡易水道事業	540万円	6.9%
	414万円	8.0%
土地取得	6,600万円	13.8%
	---	---
公共下水道事業	36億7,300万円	6.6%
	17億6,139万円	5.6%
駐車場事業	2,100万円	23.5%
	---	---
老人保健	83億5,100万円	4.3%
	6億3,270万円	5.7%
農業集落排水事業	4億9,300万円	49.8%
	6,277万円	21.7%
介護保険	64億8,100万円	4.7%
	9億8,380万円	3.8%
企業会計	186億9,000万円	▲8.4%
	12億5,000万円	1.1%
病院事業	155億4,700万円	10.3%
	12億5,000万円	1.1%
水道事業	31億4,300万円	2.6%
	---	---

はマイナス

4～7ページでは、平成19年度に市が取り組む主な事業をご紹介します。



市民福祉の向上を目指して
市の予算は、市のまちづくりの指針となる「第4次市総合計画・後期基本計画」に基づいて編成されています。平成19年度は、後期基本計画の2年目にあたり、「ひと・まち・自然が美しく夢と活力あふれる文化の都市」を目指して
●ともに支えあう福祉と健康づくり
●安全で住みやすいまちづくりと産業の振興
●すこやかな心を育む教育と文化・スポーツの振興
を重点項目として、住みよい街づくりと市民福祉の向上を目指して福祉、都市基盤の整備、教育などの分野で新たな事業にも取り組んでいきます。

限られた財源を
重点的に配分

市の予算のうち、市に入ってくるお金を「歳入」と言い、使って出ていくお金を「歳出」と言います。歳入のうち市独自の財源である「市税」は税制改正や税源移譲による個人市民税の伸びは見込まれるものの、国から受ける所得譲与税や市民税等減税補てん債などの廃止や地方交付税制度の見直しによる大幅な減収が予想される厳しい財政環境にあります。このため、予算編成にあたっては限られた財源を重点的に配分するように配慮しました。

実質2・2%減の緊縮型予算
平成19年度の一般会計予算額は、379億1,800万円となり、前年度当初予算に対して3・7%の増加となりました。このうち、市土地開発公社経営健全化計画に基づく、駅南の旧志太病院跡地5750㎡の土地購入費21億円余りを除くと、実質2・2%減少の緊縮型予算となりました。

また、特別会計は、8会計で299億1,240万円、企業会計は2会計で186億9,000万円となりました。

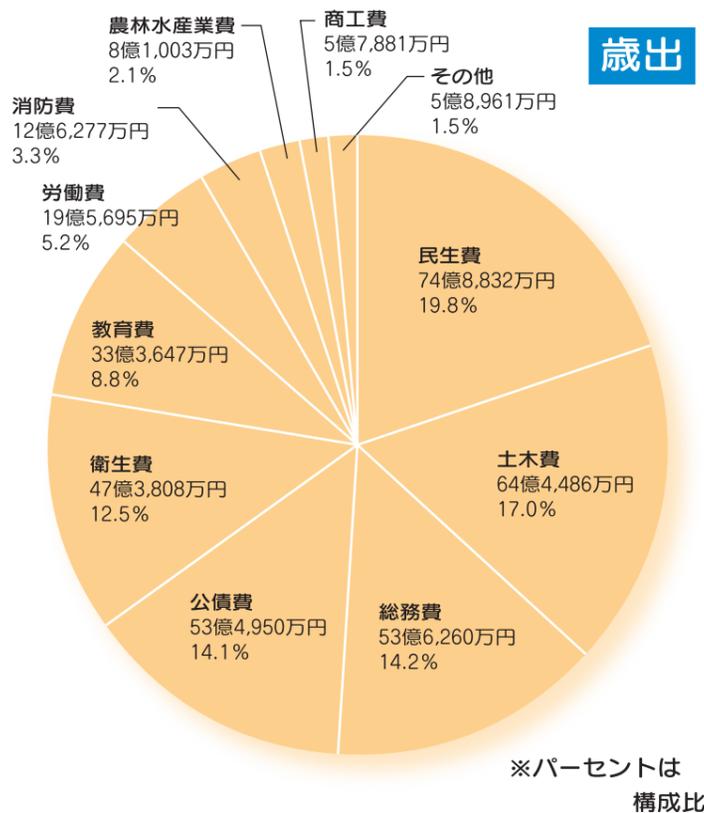
市では、健全な財政運営を図るため、第4次市行政改革新行動計画に基づき、より一層行政改革を推進し、これまで以上に市民のみならずのご協力を頂きながら、山積する政策課題に全力を挙げて取り組んでいきます。

一般会計当初予算額は **379億1,800万円**

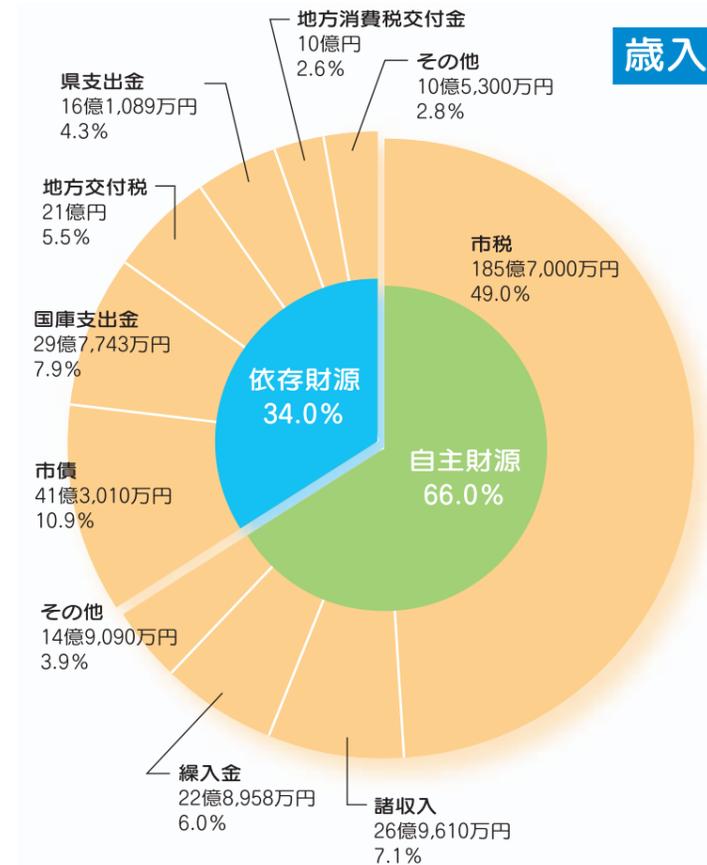
平成19年度 市の予算

市では、1年間を1つの会計期間としてどんな仕事に、いくらお金が必要なのか、そのお金をどのように調達するのかという予算を立てます。平成19年度の市の予算をお知らせします。

◎財政課 ☎643・3111 内線352



※パーセントは構成比



用語解説

自主財源／市が自主的に収入できるお金で、これが多いほど自治体としての自主性と安定性が確保できていることとなります。

依存財源／国や県などの方針で決められているお金や市債など、市が自分以外のところに頼る財源です。

市税／みなさんに納めていただく税金です。

諸収入／預金利子など、他の歳入科目に含まれていない収入です。

市債／国や銀行からの長期借入金です。

国庫支出金・県支出金／市の事業に対する国や県からの補助金や負担金です。

地方交付税／各地方自治体の財政均衡を図るため、県や市町村の財政力に応じて国から交付されるお金です。

民生費／乳幼児やお年寄り、体の弱い人などを支援する経費です。

土木費／道路や公園などを整備や維持するための経費です。

総務費／市役所の全般的な仕事の経費です。

公債費／借入金を返済する経費です。

衛生費／住民検診、予防接種やごみ収集などの経費です。

教育費／小・中学校や公民館などの整備や活動を行うための経費です。

福祉



福祉施設の充実に 4,767万円

- 共同生活介護施設整備費補助金（2施設）
- 私立幼稚園・保育所施設整備費補助金（青木橋保育園耐震補強工事ほか）
- 福祉施設の建設に対する借入金償還補助

高齢者の福祉の向上に 5億9,417万円

- 在宅高齢者住宅火災警報器設置啓発事業
- 生き生きさんさん支援事業（一人暮らし老人等配食サービス事業の拡大）
- 介護予防事業の充実に（運動器機能向上、食の自立支援、ふれあいサロン活動助成ほか）
- 簡易老人憩いの家設置費の助成（新築3箇所ほか）
- 生きがい対応型デイサービス事業 ほか

児童の健全育成に 25億5,850万円

- 児童手当（3歳未満児第1・2子支給額の拡大）
- 私立幼稚園運営費の助成
育児支援家庭訪問事業
- 放課後児童健全育成事業
- 子育て支援事業（保育ママ、地域子育て支援センター、ファミリーサポートセンター） ほか

障害者などの福祉の向上に 10億2,703万円

- 障害者自立支援費
生活支援（視覚障害者移動支援の拡大（月15時間まで利用者負担の無料化））
コミュニケーション支援（専任手話通訳者配置ほか）
- 障害者対策（生活介護事業所運営費補助負担金）
- 重度心身障害者タクシー料金助成

- 精神障害者社会復帰施設への助成（藤枝第二心愛）
地域福祉計画の推進費 ほか

介護保険事業の充実に 9億9,268万円

- 介護保険低所得者負担軽減事業
- 介護・福祉ばらん21推進事業（在宅サービス評価事業） ほか

各種医療費の助成に 5億6,578万円

- 乳幼児医療費の助成（6歳以下の未就学児の入院・通院）
- 重度心身障害者・精神障害者などへの医療費の助成 ほか

社会福祉活動の推進に 4億4,035万円

- 生活保護支援事業（自立支援相談員配置1人）
- 社会福祉協議会、民生・児童委員協議会への助成

健康・環境



母子保健の推進に 3,588万円

- 母子健康診査事業、母子相談指導事業 ほか

健康診査事業に 4億7,883万円

- 基本健康診査、歯周病疾患検診、がん検診
- 健康教育、健康相談（生活習慣病改善教室）
- 人間ドック、ミニドック、脳ドックへの助成 ほか

健康づくりの推進に 1億9,077万円

- 予防接種事業（ポリオ、日本脳炎、二種・三種混

- 合、麻しん風しん混合、インフルエンザなど）
- 結核予防事業
- ヘルスアップ事業 ほか

後期高齢者医療制度経費 2,288万円

- 県広域連合負担金 ほか

救急・地域医療対策に 1億2,453万円

- 志太榛原地域救急医療センター運営費
- ゴールデンウィーク・年末年始歯科診療の運営委託 ほか

医療の充実に 16億1,476万円

- 医療機器購入費
- 組合立静岡県中部看護専門学校の運営費負担金 ほか

健康の保持と増進に 2,235万円

- 各種スポーツの振興（スポーツ教室などの開催） ほか

清潔で衛生的な環境整備と環境保全の充実に 17億2,942万円

- 廃棄物減量化対策（もったいない運動等PR用啓発事業ほか）
- 環境衛生費（4tプレスパッカー車更新・し尿処理経費など）
- 環境基本計画の推進（エコアクション21認証取得事業）
- 小型合併処理浄化槽設置助成 ほか

平成19年度の注目事業!!

在宅高齢者住宅火災警報器設置啓発事業

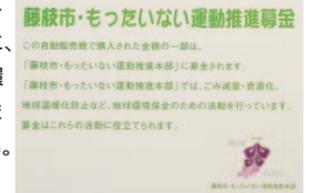
条例により、平成21年までに設置することを義務づけられている住宅用火災警報器について、70歳以上（平成19年4月1日現在）の高齢者のみの世帯を対象に、住宅防火対策の啓発を目的に配布（1世帯1個）します。秋の火災予防週間中に、消防団員が直接対象世帯に伺い配布します。



☎介護福祉課 内線678

廃棄物減量化対策（もったいない運動などPR啓発事業）

市では、「もったいない」をキーワードに、ごみの減量をはじめとした環境保全活動を進めています。昨年は、レジ袋の削減を目的に「もったいないバッグ(エコバッグ)」を配布しましたが、今年も、さらに多くの市民のみなさんの意識の高揚を図るために、誰でも簡単に実践できる、地球環境にやさしい活動を展開しています。ごみ減量化に、ご協力ください。



☎生活環境課 内線415

駅周辺にぎわい拠点施設整備事業

市では、駅周辺のにぎわい創出を目的に、駅南の旧志太病院跡地において、民間活力の導入により市立図書館を含む官民複合施設を整備していきます。3月28日には、コンペで最優秀提案者に選定された大和工商リース㈱と基本協定を締結しました。



今後は、来年3月までに着工し、同年12月のオープンを目指します。

☎企画政策課 内線313 オープンを目指すBivi藤枝

国民文化祭の開催準備について

平成21年10月下旬～11月上旬に、県内で開催される第24回国民文化祭では、「文学フェスティバル」「音楽の祭典（和太鼓）」「しずおかO-CHAフェスタ」が藤枝市で開催されます。今年度は、事前準備・文化祭運営などを行う実行委員会を立ち上げ、準備を進めていきます。



国民文化祭ふくい2005に出演した藤枝太鼓のみなさん

☎社会教育課 内線747

平成19年度の事業について

福祉関係

福祉関係では、急速に進む少子・高齢社会を迎え、高齢者・障害者の自立と社会参加、子育ての支援に積極的に取り組めます。

主な内容として児童福祉対策では、2歳児就園に取り組み私立幼稚園への助成、児童手当の3歳未満児までの支給額の増額、育児支援家庭訪問事業など子育て支援事業を推進します。

障害者対策

障害者対策では、市役所窓口への専任手話通訳者の配置、要約筆記記録者の養成、視覚障害者への移動支援や相談事業など障害者の自立支援を促進します。

高齢者対策

高齢者対策では、配食サービスなどの拡大や、新たに70歳以上の高齢者世帯に住宅用火災警報器を配布し、火災や災害に対する地域ぐるみの啓発事業などに取り組めます。

保健関係

保健関係では、健康診査や生活習慣病予防対策、母子・成人・地域保健対策や予防接種などについて、藤枝市の特色を出した保健施策を推進していきます。

市立総合病院

市立総合病院については、より一層市民に信頼される病院となるよう、充実した医療サービスの提供に努めます。

環境衛生対策

環境衛生対策としては、一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化対策などに取り組むとともに、「もったいない運動推進実行委員会」を立ち上げ全市的な展開を図っていきます。

教育・生涯学習



小中学校の施設整備に

11億1,177万円

- 大洲小・西益津小・葉梨中・西益津中・青島中学校校舎耐震補強工事
- 葉梨小・広幡中・西益津中学校校舎耐震補強実施設計等
- 藤岡小・大洲小学校屋内運動場耐震補強実施設計等
- 小中学校施設整備費(防火シャッター安全装置設置) ほか

教育の充実に

4億3,741万円

- 不登校対策事業費(適応指導教室、心の教室相談員活用事業等)
- 特別支援教育推進費(特別支援教育巡回相談員活用事業) ほか

青少年の健全育成に

2,378万円

- 青少年活動育成(チャレンジキッズ事業)
- 放課後子ども教室推進事業費 ほか

市民学習の振興に

2,809万円

- こども読書活動推進事業
- 生涯学習の推進・各種講座の開催 ほか

文化・スポーツ



市民文化の創造に

1億1,906万円

- 国民文化祭実行委員会への助成
- 日韓文化交流事業負担金
- 市民文化祭の開催、文化協会への助成
- 文学館の管理運営費、文学館事業 ほか

文化財保存と伝統文化の伝承に

5,808万円

- 市史編さん事業

- 郷土博物館や志太郡衙跡、田中城跡などの管理運営費 ほか

社会文化施設の充実に

1億4,517万円

- 文学館整備事業
- 新図書館準備経費 ほか

スポーツの振興に

1億3,401万円

- サッカーのまち藤枝推進計画策定経費
- スポーツ活動推進事業(総合型スポーツクラブ事業、スポーツ少年団などへの助成)
- 各種スポーツ大会への助成(中日本総合男子ソフトボール選手権大会、リパティ駅伝大会などへの助成) ほか

コミュニティ



市民参加の

まちづくりの推進に

734万円

- 市民意向調査経費
- まち美化里親制度推進事業
- 市民活動支援センター事業費 ほか

男女共同参画の推進に

563万円

- 男女共同参画推進事業(条例制定経費、第2次行動計画策定経費ほか)
- 男女共同参画推進センター「ぱりて」への助成 ほか

コミュニティ活動の充実に

2億9,577万円

- 地域協働支援事業
- 市立公民館の施設整備(高洲公民館改築の実施設計委託料、葉梨公民館駐車場整備工事費)
- 地区集会所設置費や自治会運営費への助成 ほか

都市基盤



市街地の整備に

29億5,108万円

- 駅周辺にぎわい拠点施設整備事業
- 病院跡地用地購入費
- 新中心市街地活性化基本計画推進事業費
- 青木・水守土地区画整理事業(組合施行) ほか

下水道の整備に

12億5,687万円

- 公共下水道の整備
- 葉梨西北地区農業集落排水事業(処理場建設ほか)
- 都市下水道整備事業費 ほか

河川の整備と親水空間の形成に

2億6,500万円

- 法ノ川、高田大溝川の河川整備事業 ほか

安定した水の供給に

7億5,604万円

- 上水道第4次拡張事業 ほか

公園・緑地の整備に

8億1,037万円

- 駅南地区近隣公園整備事業
- 総合運動公園整備事業(尾根のゾーンなど) ほか

住宅対策の推進

1,358万円

- 既存公営住宅火災警報器設置事業
- 高齢者向け優良賃貸住宅家賃減額補助金 ほか

交通基盤の整備に

16億7,263万円

- 主要道路網の整備(志太中央幹線、小川青島線など)
- 築地跨線橋耐震補強事業 ほか

安全



防災対策の充実に

2億2,553万円

- 防災対策費(災害用耐震性貯水槽設置工事など)
- 公共施設耐震診断・耐震補強実施設計 ほか

消防・救急体制の充実に

1億5,227万円

- 通信指令機器改修工事(119番発信地表示装置など)

- 消防車両購入(多目的車1台、消防団ポンプ車1台)
- AED(自動体外式除細動器)整備費(市立公民館全館) ほか

交通安全の推進に

1億7,618万円

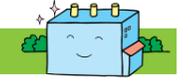
- 通学路の整備
- 交通安全対策、放置自転車等対策経費 ほか

公共交通の確保

1億264万円

- 自主運行バスの運行環境整備事業(大久保上滝沢線) ほか

産業



農業の振興に

2億9,828万円

- 適正化事業(梅田川用水堰)
- 農地・水・環境保全向上対策事業費負担金
- 土地改良事業などの農業基盤整備事業 ほか

林業の振興に

1億1,039万円

- 林道網整備(高尾線など)
- 森林整備地域活動支援事業交付金 ほか

商工業の振興に

3億9,324万円

- 中小企業への金融対策
- 企業立地推進事業(工場用地可能性調査など)
- 商工会議所奨励事業(エコアクション21認証取得事業)
- 魅力ある商店街づくりへの助成 ほか

観光資源の活用に

6,958万円

- 観光施設の整備(観光誘導サイン設置事業など)
- 温泉施設の整備(休憩施設整備など)
- 観光行事への助成 ほか

勤労者対策や消費者対策の充実に

19億4,256万円

- 勤労者への融資対策
- 高齢者等雇用奨励金
- 若年者就労支援講演会 ほか

都市基盤整備

都市基盤整備は、青木、水守の土地区画整理事業の推進とともに、土地開発公社が所有する旧志太病院跡地を買い戻し、駅周辺のにぎわい拠点施設整備に取り組んでいきます。幹線道路網の整備についても、志太中央幹線、小川青島線、三輪立花線などの整備を推進します。

下水道事業

公共下水道事業は、浄化センターの水処理設備の更新事業など、農業集落排水事業は、平成21年度の供用開始を目指し葉梨西北地区の処理場建設工事に着手します。

防災対策

防災対策は、高齢者・障害者住宅の家具転倒防止対策を推進し、新たに駅南地区近隣公園に100tの災害用耐震性貯水槽を設置します。

消防・救急体制

消防・救急体制は、全市立公民館にAED(自動体外式除細動器)の配置、消防車両の購入、また、老朽化した消防本部通信指令機器を、高機能機器へ更新します。

産業関係

農業関係は、認定農業者の育成、「藤枝かおり」の商品開発に取り組みます。商工業対策は、商業活性化事業や活性化ビジョンの充実に取り組むとともに、企業立地の推進に取り組めます。観光事業は、瀬戸谷温泉ゆらくの休憩施設

の整備、観光誘導サインの設置などを実施します。

教育関係

教育関係では、軽度の発達障害を持つ児童・生徒に対して特別支援教育に取り組む、相談・適応指導体制の充実に取り組めます。施設整備は地震対策事業として、大洲小学校、西益津小学校、葉梨中学校、西益津中学校、青島中学校の校舎耐震補強工事を、藤岡小学校、大洲小学校、葉梨小学校、広幡中学校、西益津中学校の校舎・屋内運動場の耐震補強実施設計に取り組めます。

青少年の健全育成

青少年の健全育成対策では、新たに小学校3・4年生を対象に宿泊訓練を行うチャレンジキッズ事業、放課後児童クラブとの連携を図りながら放課後子ども教室事業に取り組んでまいります。

文化関係

文化関係では、市民文化祭の開催、また平成19年9月29日に開館予定の文学館事業、子ども読書活動推進事業、新図書館準備経費、平成21年度に開催される第24回国民文化祭に備え実行委員会への助成をします。

スポーツ関係

スポーツ関係では、総合型地域スポーツクラブ事業や市民リパティ駅伝競争大会などに助成をします。